

エジェクター(PS-S,W,WG型)取扱説明書

配管接続上の注意点

- ① エジェクターの取り付け方向は任意です。
ただし、スチームエジェクターの場合は運転停止中に内部に水が溜まらない姿勢として下さい。
水エジェクターの場合に吸込側への逆流を避けるには吐出側下向き取り付けとして下さい。
- ② エジェクターへの接続管や接続機材はなるべく抵抗の少ないものが望ましい。
エジェクターの性能に関してはこれらの圧力損失を含んだ状態で選定して下さい。
- ③ 駆動側、吸込側、吐出側それぞれの付近に圧力計をあらかじめ設置するか、接続用のノズルを設けることをお勧め致します。
問題点の解明の際には各圧力が必要となります。
- ④ 吐出接続配管は出口口径と同一とし、口径の約5倍以上の直管距離を確保して下さい。
直管確保後の口径は任意ですが、抵抗を減らすには管径を大きくして下さい。
エジェクター選定には吐出配管抵抗も考慮に入れて下さい。
- ⑤ 液体駆動のエジェクター(PS-W,WG型)は吐出側に若干の抵抗が必要です。
吐出配管の抵抗が無い場合(直管後すぐに大気開放している場合等)は、逆止弁や二組セットのエルボー等を設けて配管をして下さい。
- ⑥ 液体吸込みの場合、流速がなるべく2m/sを超えない管径を選定して下さい。したがって原則的に吸込側口径をエジェクターと同一として下さい。
- ⑦ 吸込みラインへの逆流を避ける必要がある場合には、逆止弁をエジェクター近くの吸込み管に設けて下さい。逆止弁による圧力損失もエジェクターの選定には考慮に入れて下さい。
- ⑧ 次のような場合には吸込みラインにバルブを設ける必要があります。
 - 1) 吸込み流量を絞る必要がある場合
 - 2) スタート時に駆動流体が吸込み側へ逆流するのを避ける必要がある場合
 - 3) ポンプの呼び水に使用する場合
- ⑨ 配管中の異物によってエジェクターのノズル、ディフューザーの内部を塞がないように配管時に注意して下さい。
- ⑩ 配管全体による歪みや応力をエジェクター単品で受けないようにして下さい。
- ⑪ 仕様書等により上記と異なる指示等がある場合、そちらをご参照下さい。

使用方法

① 運転前の事前チェック

- 1) 全体の配管が正しく接続されている事を確認する。
- 2) 吐出管のバルブが全て全開であることを確認する。
- 3) 吸込み管のバルブが全閉であることを確認する。
(必要によりバルブが取付けてある場合のみ)

② 運転順序

- 1) 駆動側のバルブを迅速に開ける。
- 2) 吸込み側のバルブを開ける。(取付けてあれば)
- 3) 吸込み量の調整が必要な場合は、吸込み側のバルブにて調整して下さい。
- 4) ポンプの呼び水に使用する場合は、空気の排出が完了したら、吸込み側のバルブを閉めて、すぐにポンプを運転して下さい。次に駆動側を止めて下さい。

不具合原因とその対策

吸込み量が予定より少ないか、あるいはまったく吸わない。

原因	対策
<ul style="list-style-type: none">・ 駆動圧力が低い・ 吐出圧力が高い・ 吸込み管に抵抗がある・ 吸込み管のリークがある・ 吸込み温度あるいは駆動水温度が常温より高い	<ul style="list-style-type: none">・ 圧力を上げる・ 抵抗を取り除く・ 抵抗を取り除く・ 増締めする・ 温度を下げるか エジェクターのサイズを上げる

お問い合わせ

本取扱説明書でご不明な点は、弊社にお問い合わせ下さい。